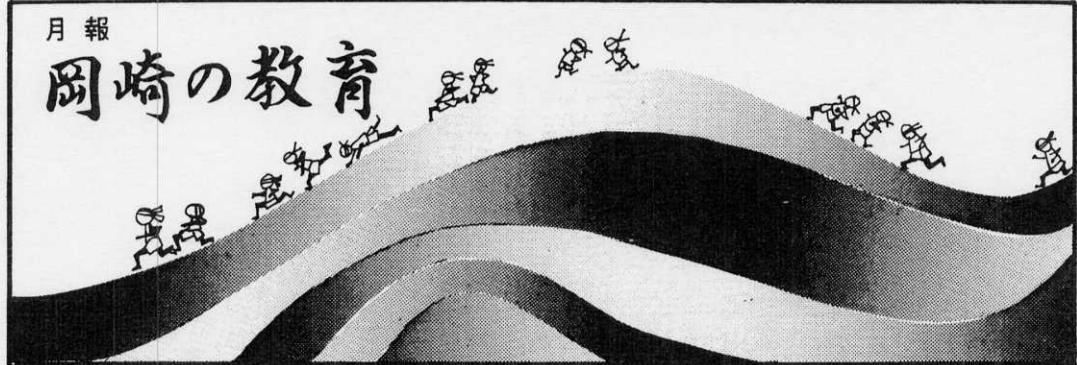


月報

岡崎の教育



12月号

今日も走る
がんばって走る
気持ちをそろえて走る
走れ 六ッ南子
体力づくりを目指し
走り続けて十三年
低、中、高、三重の輪が回る
八百人の輪が回る
走れ 六ッ南子

リズムに乗って走る
かろやかに走る
寒気をついて走る
走れ 六ッ南子

昭和60年12月1日
編集 / 発行
岡崎市教育委員会



(走れ、六ッ南子 一 六南小)

定年退職時の数年前から、身体の調子が少しずつ悪くなつてきました。体が衰弱して、動作が不自由になつても、家にいて、私に出来ることで、少しでも世のためになることを考えて、退職時から七年後に図書館をはじめることになりました。図書館といつても在職中にかかわりのあつたことであり、少しでも多く本を集め、近所の子供に読んでもらえたらという軽い気持ちで始めました。が、本が少

一番心を悩ましたことは、本を借りに来る子が入つて来る時も、出ていく時も、本を借りる時でも、返す時でも、口をきかないことでした。ただ突つ立つてゐるだけでした。こちらから声をかけると、やつと小さな声で答える。はつきりしないから問い合わせし、「二、三回やつて、やつと理解できる状態でした。なんとか声を出させたい。せめて「おはよう」「こんにちは」とか「さよなら」「ありがとう」ぐ

いこうと腹をきめました。早速やってみました。帰る子に「さよなら」と言つてやりましたが、初めのうちは面喰つた上うな、恥ずかしそうな態度を見せるだけでしたが、繰り返してやると、ほんとにやつてくれました。一人が言うと、一緒に入った子も真似をして言うようになります。よく来る子は、大きな声で言つてくれるようになりました。随分時間がかかりましたが、うれしいですね。結果がでましたから。

予期せぬ効果

六ツ美中学校

犬塚 藤保

吉田忠

— 教 育 随 想 —

なく、家も狭い、資金も乏しい等々で困りました。ところがいろいろの団体、先輩、友人、教え子等から、物心両面の援助がありましたし、新聞等も好意的に紙面にのせてくれましたので、どうにか挫折はげずに現在（12年目に入りました）まで続けることができました。その間、接触したことのない子供が相手でしたので、調子が狂い、戸惑いもしましたが、いろいろと体験もし、教えられることがありました。

らいは言つてほしいと思いました。こんなことを直接相手に言つて、相手から返事を貰うのも、教室ではないし、直接の先生でもないからできない。いろいろ考えた末、貼紙を出して言わせようとしましたが駄目。何か良い方法はないかとあれこれ考えましたが、結局相手に言わせようという態度を捨てて、こちらが先に言つてやろう。すぐ結果が出なくとも、いつかは出よう。ともかく気長にやって

なことを直接相手に言って、相手から返事を貰うのも、教室ではないし、直接の先生でもないからできない。いろいろ考えた末、貼紙を出して言わせようとしたま
1、本を借りります
2、本をかえします

1、本を借りるときは
「かります」
2、本をかえすときは
「かえします」

らくして
まと、そ
てしまつた
学校では

パソコンでゲームをするこのを契機に登校拒否は解消し

自転車、履物については、初めのうち置き方をした子には、直接わけを話して直させました。最近大変ありました。間違った置き方をするのは、新しい子ですので、見付け次第こちらで直しておいてやります。口で言つてやらせたるより、こちらがやつて見せてやる方が効果があるように感じました。

六、美中学校長　大塚　藤保

昨年の夏のことである。登校拒否を続ける生徒を何とかしようと、そのクラスの担任は必死の努力を重ねていた。そんなある日、

「パソコンの使えるクラスがあるが、来

いい子ですので、見付け次第こちらで直しておいてやります。口で言つてやらせられるより、こちらがやつて見せてやる方が効果があるように感じました。

本を返す時、借りる時にはまだうまくいっていません。それで、また貼紙に次のように書いて部屋の片隅におきました。

そのひと言で彼は登校はじめた。特殊学級への預かりという形ではあるが、それ以来、喜んで学校生活を送っている。



ふるさとシリーズ

—この人に聞く—



演生みの親の一人である先生に苦労を引きする。「お金の苦労が一番ですなあ」と笑われる。その顔があまり苦労を感じさせないのは、民主的で着実な運営が実り、苦しい時を乗り切ってきたゆとりからであろうか。

運営については、次のように話される。

「ひとりでがんばつたり、引き回しあつてはうまくいかない。お願ひして来てもらつたり、会員をふやそうという考え方ではなく、みんなで少しずつ前進していくこうという気持ちが大切で、組織論・運動論より中身を大切にして自分的人生とかかわってそれを豊かにしていくようになっています。」

「岡崎の方はマナーがいいですね。私は会員に、「観客席でおせんべいをパリパリやつてもらつては困る。上演途中で入つて来てもらつちや困る。お芝居は観客と舞台が一体になつて創つていくものだ。」と言つてゐるのです。」

「観客席は真つ暗ですが、役者さんは観客席の様子が敏感にわかるそうです。」

生徒の反応を見ながら授業を進めていたが、今は市民劇場とか演劇鑑賞会ということが多いですね。」

会の目的について、中小都市では商業名前で東ねています。以前は全部労演劇が成り立たないため、会を組織することよい芝居を安い費用で見ることと舞台人との接触を持つためと語る岡崎芳

岡崎演劇鑑賞会

兵藤 好司 氏

労演事務所は篠田公園と市民会館の中ほどビルの二階にある。無意識に通ると気づかないが、壁面の「岡崎演劇鑑賞会」の看板がはつきり目につく。

「労演」ときいていたので、壁の表示との違いについて早速お聞きする。

「全國的には九十三団体あり労演とい

うと言つていましめたが、今は市民劇場とか演劇鑑賞会というが多いですね。」

会の目的について、中小都市では商業名前で東ねています。以前は全部労演劇が成り立たないため、会を組織することよい芝居を安い費用で見ることと舞台人との接触を持つためと語る岡崎芳

と、その個性を期待してお客様が来ているのですから代役がきかないんです。」



〔住所〕 岡崎市井田町寺前三の一
〔生年月日〕 昭和五年八月十七日

「三時間の芝居で何方語というセリフをしゃべって、大道具の出し入れを暗転予定の時間をまず五分と狂わせないんです。すごいですね、プロは。」

と熱っぽく語ってくれる例は、私たちに教育のプロとして、役者に負けることがあつてはならないと示唆しているようであつた。

教師にとって、最も重要な活動が授業であることは今更言うまでもない。

「どんな授業をやるか、またやれるか」ということは、結局のところ、教師その人の力量によって決まるものである。

教育機器を利用した授業ということになると、VTR、スライド、OHP、LL、アナライザ等を用いて展開される。いつも黒板とチョークだけで授業している教師にとつては華麗な授業として目に映るであろう。

しかし、一見円滑で華やかに展開される授業であつても、「よい授業」であるかどうかは疑問である。ハードを熟知し、取り扱いがじょうずでも、取りあげられる資料の質や量、提示の時機の適否が十分に吟味されなければ、「よい授業」は生まれてこない。

今日、機器の充実は目を見張るものがある。新聞には毎日のように新製品の発表がある。しかし、そのハードに息を吹き込み、血を通わせるのは教師自身である。生きた使い方ができるように我々はソフトの研究に力を尽くしたい。

も新しい教育機器が登場しはじめている。いたずらに敬遠することなく、じっくりとその効果を追求して行きたいものである。

血の通う授業を

根石小学校長

柴田 清



アメリカ ⑥

— ニューポートビーチの中学校 —

本年度岡崎市中学生海外親善使節団（代表中学生四名、付き添い・山本悟教諭（東海中）、村田羽衣教諭（葵中）、伊藤安彦指導主事（市教委）は、十月三日から十二日までの十日間、アメリカの西海岸都市を訪問した。親善使節団の訪米は今年で六回目となる。とりわけニューポートビーチ市への訪問は今回で四度目である。今回の特集では、付き添いの山本先生にお聞きしたニューポートビーチ市エンセン中学校の印象を、お借りした写真とともに紹介する。

■ 体育館での盛大なプラスバンドの歓迎演奏で始まった私たちのエンセン中学校訪問は、全校体制で温かく迎えられた。校内の各所に展示された歓迎の言葉、生徒会役員による校内案内、いつでもどこでも気軽に笑顔で話しかけてくれる彼等に親しみを感じることができた。

日課時間表を見てわかるとおり、一時間の授業は原則的には五十分間であるが、四時間目は二十五分間と、日本の一般的な学校と比べて変則になっている。

職員室の中も、日本のイメージとは全く異なり、ソファーや八つ置いてあるだけの、ラウンジルームといった感じである。日本の雑然とした職員室を見なれた目からは、これが職員室と説明されるまではわからなかつた。この場所で毎週一度ひ一度参加してみたかった。

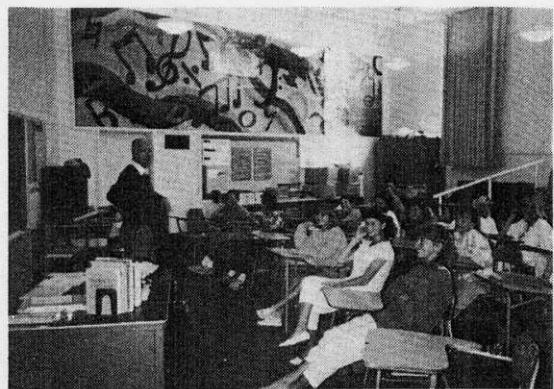
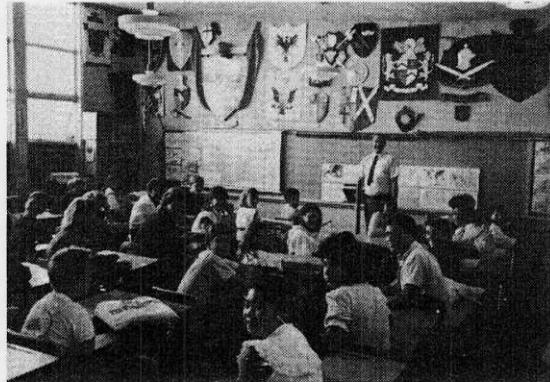
運動場は本当にアメリカらしく広大である。よく手入れされた芝生の上で、生徒たちは運動を楽しんでいた。

ENSIGN SCHOOL BELL SCHEDULE	
FIRST BELL	- 8:02
P.1	- 8:07 - 9:00
P.2	- 9:05 - 9:55
P.3	- 10:00 - 10:50
P.4	- 10:55 - 11:20
LUNCH	11:25 - 11:55
P.6	- 12:00 - 12:50
P.7	- 12:55 - 1:45
P.8	- 1:50 - 2:40
	1985-86



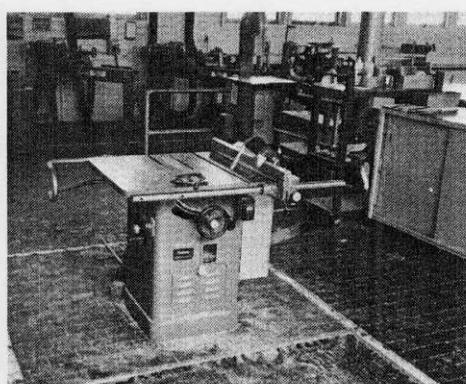
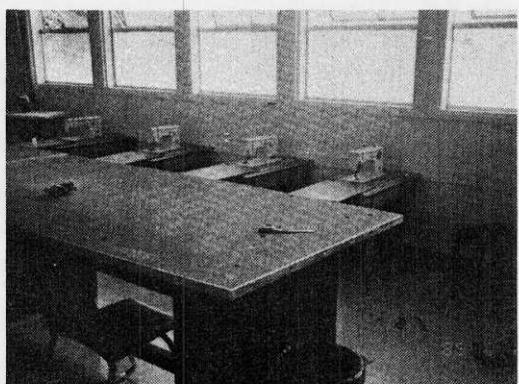
授業はリラックスした雰囲気で、どこもとても活発であった。特に社会科では飛び入りで参加させてもらつたが、日本についても予想以上によく知つており、数多くの質問を受けたが、大変興味深かつた。十三才ぐらいからお化粧を始めるという彼等にとって、制服姿で坊主頭の日本の生徒は珍しいらしく、多くの質問が出された。

また、この学校では中学一年生でどのクラスでも週一回ずつコンピューターの授業があるという。生徒一人ひとりが、ゆつたりとした部屋で、それぞれ一台ずつのコンピューターに向かい、先生の指導のもとにプログラムを組んでいたが、その表情はとても楽しそうであった。



■授業はリラックスした雰囲気で、どこもとても活発であった。特に社会科では飛び入りで参加させてもらつたが、日本についても予想以上によく知つており、数多くの質問を受けたが、大変興味深かつた。十三才ぐらいからお化粧を始めるという彼等にとって、制服姿で坊主頭の日本の生徒は珍しいらしく、多くの質問が出された。

OHPもどの教室にもあるというわけではなく、一部の特別教室に見られただけであった。テレビも特別教室に一台あつただけである。技術科室の電動工具も日本と比べると種類が少ないようと思われた。また家庭科室も広い教室に机とミシンが置いてあるだけという、殺風景なものであった。





冒険

六北小 松岡 育代

ブリテン作曲のグロリア。数年前から取り組んでみたかった曲である。しかし、ラテン語、英語拍子、調性感がどうにいくと、いうこの曲を、本校の合唱部に選ぶのは冒険であった。折しも、今年の夏、富士山のふもとで、ハンガリーの合唱曲を歌う機会を得た。アカペラのその曲をホールで歌った時、戦慄にもの似た感動を味わつた。合唱の原点とでも言うべきものが、そこにはあったのだ。声の響きが、心の琴線をこのように強くはじくのだと初めて知つた。グロリアは歌おうというゴーサインは、

この時、出ていたようだ。本校の合唱部員はえりすぐられた者が集まっているわけではない。少林寺拳法をやっているごつい少年、K男が入部してきた。国語の音読もたどたどしい彼がラテン語のグロリアについて次のように書いている。「とても楽しい曲なので、すごく覚えたくなつて、とうとう一週間で覚えてしまつた。」

したがての次に音楽がきらいだというお寺の息子、M男が、なぜか入部し「高い所で三つ音が重なる所は、もう最高。家でグロリアばかり歌つて」と言ふ。母親から「M男が音楽を好きになるなんて、我が家のがビッグニュースです。」と礼状が届いた。審査員は口をそろえて「よくこんな難しい曲を…」と言つて下さる。覚える過程でのときにくさは確かにあつた。しかし、それを越える魅力が曲の中に潜んでいれば、子どもは必ず食いついてくることをこの目で確かめることができた。



テレビに学ぶ

美川中 高木 和広

授業の始めのあいさつが終わる。視聴ノートを配る。これから視聴するテレビのテーマ名を板書する。生徒は、それを視聴ノートに写し、視聴体形をとる。テレビのスイッチを入れ、VTR

いった。それが、結果として、NHK音楽コンクール全国大会に出しの緊張しきつた子どもの表情が、テレビの画面に写し出された。私は子どもたちのあの純朴さが好きである。子どもの命と私の命がきらめいた、すてきな冒險だった。

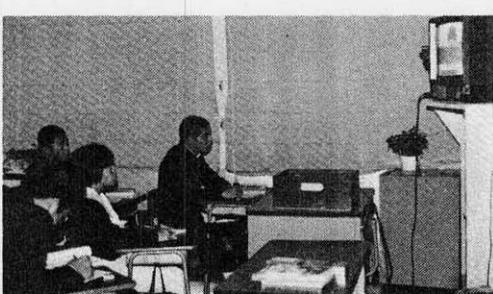
全国大会には、いかなかべ丸が出しの緊張しきつた子どもの表情が、テレビの画面に写し出された。私は子どもたちのあの純朴さが好きである。子どもの命と私の命がきらめいた、すてきな冒險だった。

Rのスタートボタンを押す。テーマ音楽が流れ、番組名が、テーマ名がブラウン管に現れる。ここまででは、生徒の顔にゆとりを感じられる。

テーマ音楽が終わり、おなじみのナレーター（レポーター）が登場する。この時点では生徒の顔つきががらりと変わる。テレビを取り入れた授業の毎度のパターンである。

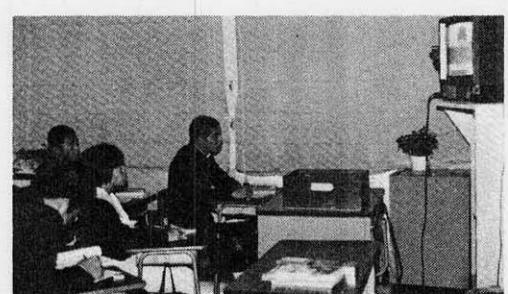
中学校でのテレビの活用は、小学校に比べ低調である。しかし、中学校においてもテレビは楽しいものであり、テレビを使った授業の方がよいとする生徒が多いことも確かである。ただそれが、先生の話を聞いているよりも楽しいというだけでは、意味がない。テレビを使う以上テレビを使わない授業以上のメリットがなければならない。そのためには、テレビの持つ特性を生かし、単元の中へ確かに位置づけていくことが大切だと考へている。

「テレビを使った授業は楽しい。」といつて生徒も、一度は樂しくない壁に直面する。テレビから何かをつかませ、単元の授業に生かそうと教師が考えている。



合は、視聴中に番組の内容を視聴ノートに構造的に記述させるようにしている。生徒は、テーマ名から、あるいはこれまでのテレビ視聴の経験から、番組内容を予想する。そして、視聴中に番組全体の構成を考え、テレビが何を訴えようとしているのかを模索する。たいへんなことである。ナレーターの登場で生徒の顔つきが変わらぬえんである。

「テレビを使った授業は楽しい。」と生徒はいう。それは、気楽に見るテレビから、何かをとらえようとするテレビ視聴に変わった上での、生徒のことばと受け取りたい。

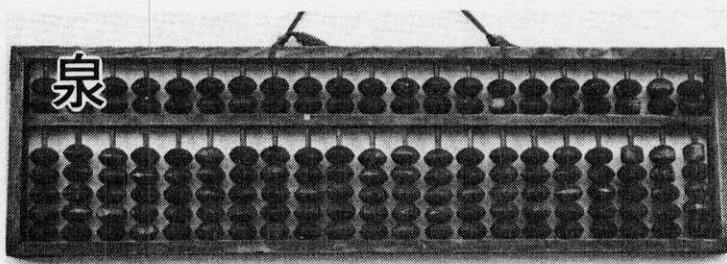


教授用中國式算盤

五つ玉の算盤はそれほど珍しくないが、上段二つ、下段五つの中中国式算盤にはあまりお目にかかるない。ところが緑丘小学校の近く、淨恩寺という真宗のお寺には、高さ三〇センチメートル幅一メートル余という、教授用の算盤が残っている。

この寺の西、通称馬頭觀音の裏手に善光寺堂が建っていた。算盤はこの堂の屋根裏から出てきたもので、こびりついたすやすほこりを池の中に三か月余も浸した後こすり取ったところ、木枠に「時維明治十有六年一月十八日岡崎駅書肆本文於而購求之」等の文字が浮き出でてきた。

明治十一年に生田、平地、馬頭の三村が合併して和合村となり、翌十二年に和合学校が設立されたが、算盤の今の持ち主、淨恩寺住職の鈴木さんのお話だと馬頭では善光寺堂が和合学校の分教場だったそうだ。ここで教鞭をとっていた、鈴木さんの三代前の智藏という方がこの算盤を教具として買いもどめて来たのではないかということである。



美合町本郷 淨恩寺

心配な話を聞いた。AF2といふ防腐剤のこと。豆腐もねりものも大好物、これからはおでん、湯豆腐の季節なのに……。教育文化賞授賞式の記念講演で聞いた西丸先生の話。厚生省も認めていた防腐剤が、何と遺伝子を勝手に組み替え、奇型をつくる毒薬であったという笑って聞いてはおられない話。

大みそかまでひと月足らず。この一年を振りかえってみると、多事多難の年であつた。ジャンボ機の大事故に驚き、臨教審の報告も気になつた。特に教育問題には国民の耳目が集まつている。

教育の現場にある者として、潮流の動向には気を配りながらも、基本には忠実でありたいものだ。



スキーライフの季節がやつてきた。同時に中学生の間では、「すべる」「下がる」などの言葉が禁句となる。とかく物事を合理的に考える現代の子も、一度大事が身に迫れば、縁起もかつぐ。困った時の神頼みは通用せぬのが教育の世界。我々教師も子供の振り見て我が振り直さねば……。

この本を

*室町抄	南條範夫
講談社	¥ 1300
*食生態学入門	西丸震哉
角川書店	¥ 880
*決断	豊田英二
日本経済新聞社	¥ 1000
*長く暑い夏の一日	渡辺淳一
講談社	¥ 980

※ことばに学ぶ	外山滋比古
毎日新聞社	¥ 1100

「いまの俳句が人間を見つめていないと言うつもりはない。ただ、雅語、文語という眼鏡越しでは低俗などろどろしたところが視野に入つてこない。短詩型文学が小さい個性にこだわるのは賢明でない。俳句はもっと民芸的、諺的であつてさしつかえないし、そある勇気をもつてよい」と述べている。

俳句を古典の形式として眺めた、ユニークな言語論。俳句をめぐることばのエッセイ。